



2026年3月期第3四半期
決算補足説明資料

カメイ株式会社

東証プライム 8037

01 2026年3月期 第3四半期 決算概要

KAMEI





売上高：421,777百万円（前年同期比 +3.2%）期初予想進捗率：通期 71.9%

営業利益：10,837百万円（前年同期比 +5.6%）期初予想進捗率：通期 69.0%

■事業動向

売上高：全てのセグメントが増収を達成

エネルギー、食料、自動車関連セグメントを中心に伸長

営業利益：食料セグメントは食品・酒類販売の価格改定による増収と利益率改善により、大幅増益

エネルギーはマージン良化により増益。自動車関連は新車販売とレンタカー事業の好調により増益

海外・貿易は、米国関税政策の影響等により減益。ファーマシーは利益率低下と経費増により減益

3Qまでの進捗：通期売上高進捗率は71.9%と順調だが、営業利益進捗率は69.0%とやや遅れがみられる

■トピックス

・期末配当を期初予想から5円増配し、年間配当は105円/株の予定（11期連続増配）

・当期間の為替は、ドル円で148.3円（期初予想は143円）で推移し、前年同期比で約3円の円高



■ 売上高421,777百万円（前同比+3.2%）、営業利益10,837百万円（前同比+5.6%）

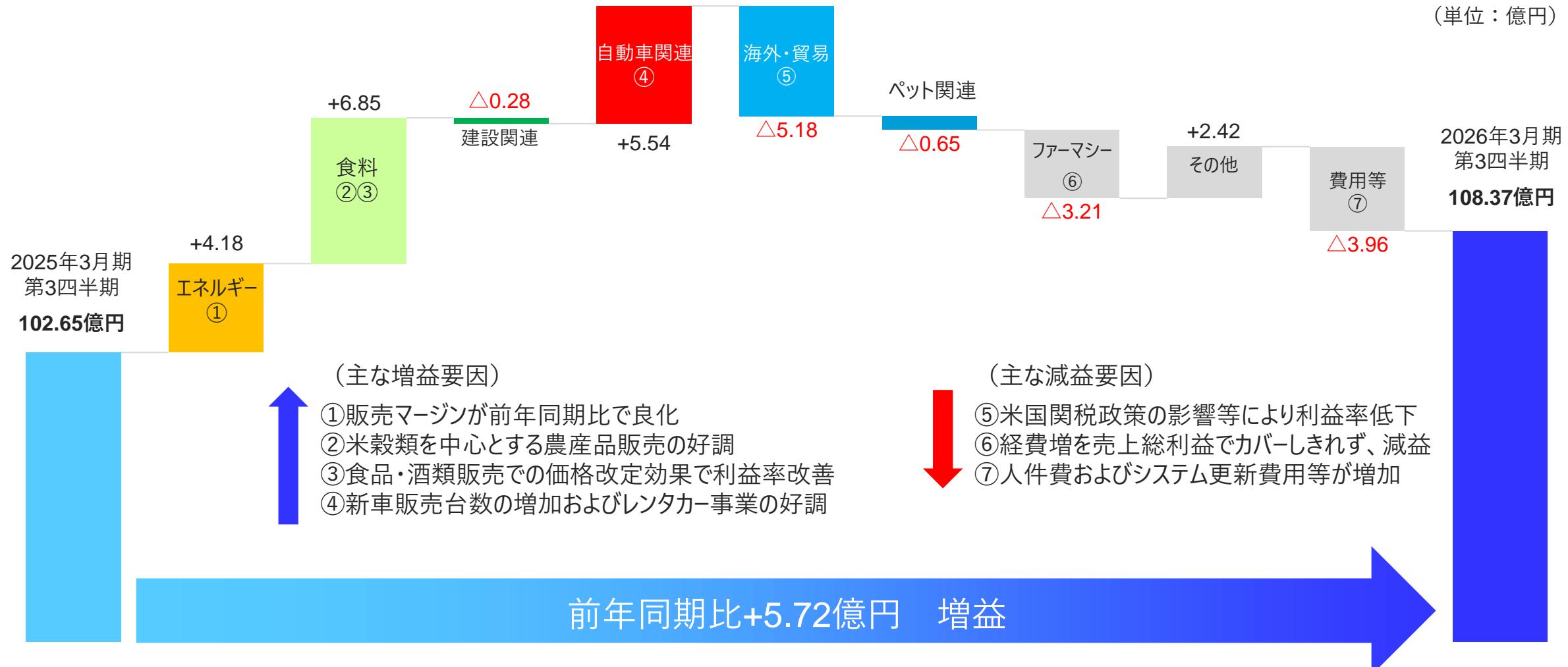
■ 収益性も改善傾向（営業利益率2.5%⇒2.6%、経常利益率2.9%同水準）

	2025年3月期 第3四半期 実績	対売上 比率 (%)	2026年3月期 第3四半期 実績	対売上 比率 (%)	前年同期比 (%)	2026年3月期 通期 期初予想	通期予想 進捗率 (%)
(単位：百万円)							
売上高	408,684	—	421,777	—	+3.2	586,300	71.9
売上総利益	66,949	16.4	70,672	16.8	+5.6	—	—
販売費及び 一般管理費	56,684	13.9	59,835	14.2	+5.6	—	—
営業利益	10,265	2.5	10,837	2.6	+5.6	15,710	69.0
経常利益	11,649	2.9	12,023	2.9	+3.2	16,950	70.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,113	1.7	7,336	1.7	+3.1	11,000	66.7

2026年3月期第3四半期 営業利益の増減要因（前年同期比）



■ 食料セグメントが、農産品販売等における增收と価格改定による利益率改善により大幅増益となり、エネルギーセグメントと自動車関連セグメントも好調維持。自動車関連セグメントが利益額首位



各報告セグメントの動向：增收増益だが、海外・貿易の減速傾向が続く



単位：百万円		2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	要因（コメント）
合計	売上高	408,684	421,777	+ 13,093	全てのセグメントで增收を達成
	セグメント利益**	10,265	10,837	+ 572	営業利益も増益となり、第3四半期累計として過去最高益を2年ぶりに更新
エネルギー	売上高	192,846	195,798	+ 2,952	新たに1社を連結子会社化（8月）
	セグメント利益**	2,385	2,804	+ 418	前同比で販売マージンが良化したことにより増益
食料	売上高	27,476	29,939	+ 2,463	米穀類を中心とする農産品の価格高騰により、売上高が大きく伸長
	セグメント利益**	73	758	+ 685	上記の他、食品・酒類販売での価格改定効果で利益率改善
建設関連	売上高	37,297	37,325	+ 28	土木資材とハウジング商材販売が堅調に推移し、売上高・営業利益とも
	セグメント利益**	1,101	1,073	△28	前年並みを確保
自動車関連	売上高	55,612	61,314	+ 5,702	新車販売台数の増加およびレンタカー事業の好調により增收・増益
	セグメント利益**	3,670	4,225	+ 554	
海外・貿易	売上高	63,035	64,259	+ 1,224	既存3社の連結子会社化とインフレ昂進により売上高は伸長した一方、
	セグメント利益**	3,836	3,318	△518	米国関税政策の影響や消費マインドの変化等により、営業減益
ペット関連	売上高	10,864	10,937	+ 73	ペット関連は販売数量が前年同期を下回り減収だが、園芸関連が
	セグメント利益**	181	116	△65	販売数量・売上共に順調に推移し増収確保。経費増により減益
ファーマシー	売上高	14,893	15,115	+ 222	処方箋応需枚数は低迷したが、処方箋単価の上昇により增收
	セグメント利益**	209	△110	△321	総利益率低下と経費増により営業減益
その他*	売上高	6,659	7,087	+ 428	各事業とも概ね順調に推移し、增收・増益
	セグメント利益**	589	831	+ 242	
全社費用		△1,783	△2,179	△396	人件費およびシステム更新費用等が増加

* 情報機器の販売、運送業、不動産賃貸業 等

**セグメント利益又は損失は調整額控除前

■ 自動車の割賦債権回収が進み、売掛債権は前期末から減少

■ 有形固定資産は自動車事業の店舗新改築、新規連結子会社の編入により増加

■ 投資その他の資産は、株価上昇に伴う有価証券時価評価額上昇により増加

資産の部

(単位：百万円)	2025年12月末	前期末増減
流動資産	187,581	△248
現金及び預金	62,458	196
受取手形、売掛金 及び契約資産	74,229	△1,806
商品及び製品	34,045	2,038
固定資産	140,186	7,305
有形固定資産	101,671	3,478
無形固定資産	6,048	71
投資その他の資産	32,466	3,756
資産合計	327,768	7,058

負債・純資産の部

(単位：百万円)	2025年12月末	前期末増減
流動負債	121,612	△707
支払手形及び買掛金	58,871	2,028
短期借入金	38,089	399
固定負債	33,515	1,588
長期借入金	4,903	△596
純資産	172,639	6,176
株主資本	144,836	4,997
その他の包括利益累計額	18,942	662
負債純資産合計	327,768	7,058

02 2026年3月期 通期見通し

KAMEI



- 全体の見通し：利益の進捗にやや遅れがみられるが、期初見通し（2025年5月）は変更なし
- 売上高 5,863億円（前期比 +2.1%）で増収、営業利益 157億円（△1.3%）と前期並みを見込む
- 3Q累計は増収増益だが、4Qは物価高による景気減速感がみられ、通期見通しは変更なし

(単位：百万円)	2025年3月期 (実績)	対売上比率 (%)	2026年3月期 (見通し)	対売上比率 (%)	前年同期比 (%)	金額差異
売上高	574,281	—	586,300	—	+ 2.1%	+ 12,019
営業利益	15,912	2.8	15,710	2.7	△1.3%	△202
経常利益	17,746	3.1	16,950	2.9	△4.5%	△796
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,690	1.9	11,000	1.9	+ 2.9%	+ 310

2026年3月期各報告セグメント売上高見通し : 期初予想並みで着地できる見込み



(単位：百万円)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (見通し)	前年同期比 (%)	2026年3月期 第3四半期	進捗率 (%)	要因
エネルギー	282,681	285,200	+ 0.9	195,798	68.7	第3四半期までの順調な進捗が継続する見通しだが、暫定税率廃止による単価下落で、SS販売は減収見込み
食料	36,679	38,600	+ 5.2	29,939	77.6	価格改定の取り組みを継続しながら、仕入価格と経費の上昇を注視
建設関連	48,031	48,700	+ 1.4	37,325	76.6	工事受注は減収も、好調な土木資材販売とハウジング商材販売でカバーする見込み
自動車関連	73,584	78,000	+ 6.0	61,314	78.6	新車供給が回復し、販売台数が増加、レンタカー事業も旺盛な需要等により好調維持
海外・貿易	89,948	89,100	△0.9	64,259	72.1	為替の影響は期初予想ほどではない一方、米国関税政策や消費マインドの変化による業績への影響が続く
ペット関連	14,311	16,000	+ 11.8	10,937	68.4	ペット・園芸とも売上高は堅調見込みだが、期初予想には届かない見込み
ファーマシー	19,861	20,700	+ 4.2	15,115	73.0	処方箋応需枚数は前年割れだが、処方箋単価の上昇により前年並みとなる見込み
その他*	9,182	10,000	+ 8.9	7,087	70.9	運送業は第4四半期のウェイトが高いため、進捗は順調

* 情報機器の販売、運送業、不動産賃貸業 等



■ 報告セグメント利益の見通し：建設関連（○→△）を第2四半期時点から
評価変更も、通期見通しは変更なし

報告セグメント	評価とコメント	報告セグメント	評価とコメント
エネルギー	△ 構造的需要減が続き、4Qは減益予想	海外・貿易	△ 米国関税政策等によるコスト増で利益率低下
食料	○ 売上伸長と価格改定効果が継続	ペット関連	△ 経費増により利益減少
建設関連	△ 工事の受注低迷により減益予想	ファーマシー	△ 処方箋応需枚数減少と経費増により収益悪化
自動車関連	○ 新車販売とレンタカー共に好調維持	その他	○ 各事業とも概ね順調

■ 為替の前提条件 1ドル=149円（前期は 1ドル=152円）

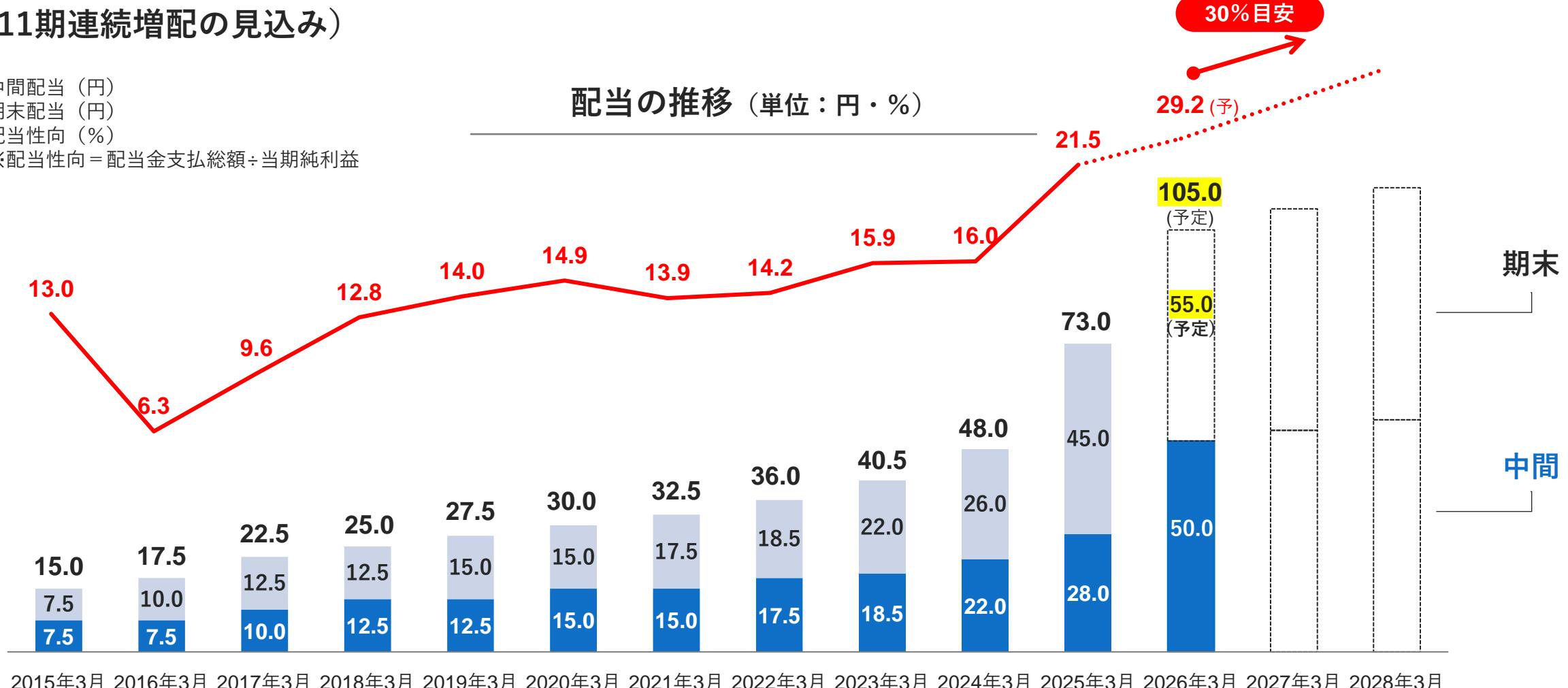
■ 原油価格の前提条件 ドバイ原油=70ドル/bbl（上期は 69ドル/bbl 前期は 78ドル/bbl）

■ 配当額 期末配当を5円増配し、年間105円（中間50円+期末55円）を予定

■ 累進配当を継続、2026年3月期期初に配当性向『30%目安』へ引き上げ

■ 2026年3月期：年間 100⇒105 円/株（中間配当 50円、期末配当 50⇒55円）へ5円増配の予定
(11期連続増配の見込み)

- 中間配当（円）
- 期末配当（円）
- 配当性向（%）
- ※配当性向 = 配当金支払総額 ÷ 当期純利益



03 2026年3月期 第3四半期 最新トピックス

KAMEI



 2025年11月

北米の日系スーパー・マーケットチェーン 「Mitsuwa Marketplace」新店舗OPEN

- ・2025年11月1日、当社グループが運営する日系スーパー「Mitsuwa Marketplace」の新店舗「サイプレス店」がカリフォルニア州にグランドオープン
 - ・Mitsuwaは、西海岸を中心に北米全土で13店舗を運営する全米最大規模の日系スーパーマーケットチェーン



オープン初日 店舗前の様子



彩り豊かな総菜が並ぶ売り場

2025年12月

当社初の個人投資家向け会社説明会を オンライン形式で開催

- ・2025年12月6日、IR活動充実の一環として、当社初の「個人投資家向け会社説明会」を開催
 - ・今後も、継続的な情報発信に取り組む

カメイ 地域密着型総合商社カメリ 事業内容及び決算動向

過去20年、時代に合わせた事業ポートフォリオの変革で収益性は強化

- 2015年3月期～ M&Aや投資を積極化で利益重視へ転換、事業構成の多様化・収益成長へ
- 2021年3月期～ 利益基盤の多様化による成長が加速。稼ぐ力が次のステージへ

売上高・営業利益・営業利益率の推移 (過去20年)

年	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)
2003	504,244	6,800	1.37%
2004	510,000	7,000	1.38%
2005	515,000	7,500	1.45%
2006	520,000	7,800	1.48%
2007	525,000	8,000	1.52%
2008	530,000	8,200	1.55%
2009	535,000	8,500	1.58%
2010	540,000	8,800	1.62%
2011	545,000	9,000	1.65%
2012	550,000	9,500	1.72%
2013	555,000	10,000	1.82%
2014	560,000	10,500	1.89%
2015	565,000	11,000	1.95%
2016	570,000	11,500	2.05%
2017	575,000	12,000	2.10%
2018	580,000	12,500	2.18%
2019	585,000	13,000	2.22%
2020	590,000	13,500	2.28%
2021	595,000	14,000	2.35%
2022	600,000	14,500	2.42%
2023	574,281	15,912	2.77%

02 財務指標に見る社成長の軌跡

過去20年、時代に合わせた事業ポートフォリオの変革で収益性も強化
M&Aなどにより「事業ポートフォリオの変革」は収益向上に貢献

03 決算概要 直近10年の実績/2026年3月期第2四半期見通し

直近10年間(2016年3月期～2025年3月期)の実績と、2026年3月期第2四半期見通し

2026年3月期 第2四半期見通し(ハイライト)：収益増益かつ初予測を上回る見通し

2026年3月期見通し：期初見通しを維持

2026年3月期新規セグメント売上高見通し：エネルギーは下落傾向のため、達成率は懸念調査

2026年3月期期初見通しのポイント 第2四半期決算発表点(11月13日)の見方

04 長期経営方針(長期ビジョン/ありたい姿)

「当社の企業価値」：変化をチャンスと捉え、持続的成長を目指す

配布資料

前ページ

次ページ

説明会プレゼンター
代表取締役社長
亀井 昭男

説明会プレゼンター
常務取締役
相原 優

Copyright Nikko Investor Relations Co., Ltd. All Rights Reserved.

「個人投資家向け会社説明会」の動画を
カメリHPで公開中



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



カメイ株式会社

2026年2月

東証プライム

8037

